

会 議 録

会議の名称	第6回 大和郡山市地域公共交通総合連絡協議会	
開催日時	平成25年10月8日（火）10:00～10:35	
開催場所	市役所2階200会議室	
事務局	大和郡山市 総務部 企画政策課	
出席	委員	別紙のとおり
	事務局	中尾企画政策課長 笠原企画政策係長、石倉
欠席者	別紙のとおり	
議題	1. 大和郡山市コミュニティバスの運行状況等について 2. 元気平和号の増便及び路線変更について 3. その他	

議 事 概 要

1. 開会（事務局）

委員の皆様には、ご多忙の中ご出席いただきまして誠にありがとうございます。会議に先立ちまして、本日のご出席者をご紹介申し上げます。（出席者を順番に紹介する。）以上、お一人だけ欠席ということでございます。それでは、本協議会の会長であります上田大和郡山市長からご挨拶を申し上げます。市長よろしく申し上げます。

2. 挨拶（市長）

みなさん、おはようございます。お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。

地域にとって公共交通が、本当に大きな役割を果たしているということは、みなさん共通認識としてお持ちのことだと思います。高齢化社会になり、あるいは身体の不自由な方を含め、移動するというののは一つの権利であると最近は

捉えられているところです。では公共とは何かということになりますが、これは私どもに課せられている大変大きな、重要な課題であることは間違いございません。その中で最近、JRや近鉄で一定の乗降客数を下回ると無人化をするという大変大きな課題を突きつけられております。市内ではファミリー公園前駅が、数百人と少ないですので、元々無人化になっております。他は無事にクリアできていますが、これは県内の自治体にとって大変大きな問題です。公共とは何かと、駅員を公共で賄ったらいいかという話になってくると、またそれに税金を使うのがどうかという話になってくるでしょうし、非常に難しい問題ではないかと思っております。単に移動だけでいいのかという、そこには安心・安全ということも一緒になっているわけであります。実は昨日、郡山土木さんともその議論を随分しておりましたが、今、私ども自治体も大変な悩みを抱えています。それは職員数が大幅に減ったということです。先般の台風18号のときにも、もう手が回らない、なかなか県も市も人員がいざというときに集まらないという状況になっております。合理化だけを進めていくことで、果たしていいのかという、大変重たい課題を突きつけられているわけです。そこでそういう災害のときに、夜中に集まってもらおうとすると間に合わないことも考えられるので、そういう連携をこれからどうするか、総合的な防災力を求められているように思います。その中で公共交通はどうしていくのかということについて、今日は特にコミュニティバスについていろいろご意見をうかがいたいと思っておりますので、みなさんのお力添えをいただきたいと思っております。

今年で、コミュニティバス「元気城下町号」が発売してちょうど10年になりました。10年の歴史を歩んできたわけでありますけれども、料金はそのままでございます。経費全体の中で、料金・運賃収入が占める割合は7%しかございません。これは民間ではとてもできない事業でございます。このままでいいかどうかということも、当然これから視野に入れていかなければならないところであります。

今日は路線バスの休止の影響によるコミュニティバスの運行便数の変更等について、よろしくご意見を賜りますようお願い申し上げまして挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

3. 議 題

(1) 大和郡山市コミュニティバスの運行状況等について

事務局から、資料『1. 大和郡山市コミュニティバスの運行状況等について』に沿って、平成23、24年度のコミュニティバス経費、利用者数についての説明がある。

- ・説明の中で、元気平和号の利用者数の伸び率が目立っており、平成23年度が前年度比10.0%増、平成24年度が同7.6%増となっている。これは平成23年11月、奈良交通のバス路線「藪町線」が休止になった影響が大きいと考えられる。

【質疑応答】

上田会長 ただいまの説明について何かご質問等ございましたらお願いします。

特にないようでしたら、続きまして元気平和号の増便及び路線変更について説明してください。

(2) 元気平和号の増便及び路線変更について

事務局から、資料『2. 元気平和号の増便及び路線変更について』に沿って、下記の説明がある。

① 1日の便数を3便から4便へ増便する案

平成23年11月に奈良交通のバス路線「藪町線」が休止されたことにより、9時10分県営住宅稗田団地前発の第1便の利用者が増加しており、定期的に積み残しが発生している。現行の第1便9時10分発の前に、7時50分（現在の予定）発の便を増発することにより、利用者の分散を図り、積み残しの解消に努める。

② 運行経路を延長する案

平和号は公共交通が希薄な平和地区において、地域住民、特に高齢者の重要な外出手段になっている。そのため、現行の運行路線に入っていない稗田町と、自治会の区域が南北に広がっており既存のバス停留所からは相当の距離があり、高齢者が利用しにくい状況にある平和団地南、平和地区の住民が利用する公共施設である平和地区公民館、これら3ヵ所に新たにバス停留所を設置し、運行経路の延長を行う。

【質疑応答】

上田会長 それでは平和号の増便、路線変更についての説明がございましたが、ご質問、ご意見等あればお出しいただきたいと思います。

奈良運輸支局 増便について確認なんですけど、今までは第1便が9時10分発ということで、すでに定員に近い方が乗車されているようですが、7時50分に設定しているのは自治会からの要望に基づいてされているのですか。

事務局 9時10分発に現在乗っておられる方にアンケート調査を行いましたところ、病院等で利用している方もおられるということで、できたら早い便でというご要望が多かったことと、9時10分発についてあまり動かしてほしくないというご意見もございました。そういった点から、案として7時50分にさせていただいたということでございます。

**平和地区自治連合会
会長** 私は要望などをよく聞くんですけど、この増便と経路延長に伴い、どのくらいの経費の増額になるのですか。

事務局 60万円前後でございます。

**平和地区自治連合会
会長** 全ての経費がですか。

事務局 当初にバス停の時刻表等を全部掛け替えていく必要がございますので、そういった初発経費は20万円から30万円ほどかかると思うんですけども、年間の経費といたしましては大体60万円くらいということでございます。

上田会長 バスは大型化したら、経費は当然もっとかかるのですか。

事務局 当初大型化も考えたんですけど、コースターという車種であれば、年間のリース料が改造費用込みで260万円程度になります。そうなりますと今150万円でございますので、110万円ぐらい増額になってしまうということでございます。

上田会長 他はいかがでしょうか。

奈良運輸支局 最初のコミュニティバスの実績の話で、平和号の利用者が増えていてということで、奈良交通さんの路線バスの休止の影響もあるんだとは思いますが、その他に要因はあるのでしょうか。年々利用者が増えてきておりますので、その他の要因がわかれば教えてもらえませんか。

事務局 特にその他の大きな要因としてはないと思います。それまで大体横ばいか微増でございましたが、23年度の下半期、秋ぐらいから急に増えだして、22～23年度にかけて10%増、23～24年度にかけて8%増となっております。要因としては、奈良交通の休止になったバス路線に、県住の方が多数乗っておられたというように聞いておりますので、それであろうと考えております。

上田会長 今後このように、路線バスの休止が影響を及ぼすようなことはあるのですか。

事務局 現状では、奈良交通さんの方から私どもの大和郡山市の方で、具体的にこの路線が休止の対象になっているということは聞いてはおりません。そういうことでよろしいですか。

奈良交通 結構です。

上田会長 それでは、他になければ、増便及び路線変更ということで、事務局案のとおり承認ということでよろしいでしょうか。

➡ 【異議無し】

上田会長 それでは、また今後とも色々なお気付きの点があればご指摘をいただき、このような形で進めさせていただければと思います。よろしくお願いします。
それでは、その他ということで、事務局から何かあるようでございます。お願いします。

(3) その他

事務局から、資料『3. その他』に沿って、安堵町コミュニティバスに関して下記の報告がある。

- ・大和郡山市に隣接している安堵町では、平成24年4月からコミュニティバスの運行を開始しており、市内昭和地区を通過して近鉄平端駅まで運行されている。
- ・昭和地区においても、過去に路線バスの廃止があり、現在は公共交通が希薄な状態にある。
- ・そのため昭和地区自治連合会から、昭和地区内を通過する安堵町コミュニティバスの運行ルート上に、バス停留所を設置してほしい旨の要望が出されている。
- ・バス停留所の設置予定箇所として、安堵町コミュニティバスの運行ルート上に、現時点で西町と額田部北町の2ヵ所を予定している。
- ・今後、安堵町と協議を行い、地域住民の利便性向上と交通手段の確保を図っていきたいと考えている。

【質疑応答】

上田会長 これも路線バス廃止の影響ということで、しかも市域を越えるまれなケースです。これは常々申し上げているんですが、これからこういう形で、市町村の枠を越えた公共交通ということも、新たな課題として出てくるのではないかと思います。平端駅周辺の人たちが一番不便に感じておられるのは、JRが遠いということなんです。最寄りには法隆寺の駅ですけれども、そこに至るバスがないということです。平端駅から乗れば、法隆寺駅は行けるんですか。

事務局 安堵町役場で、奈良交通の路線バスに乗り換えれば行けます。

上田会長 どのぐらい時間がかかりますか。

奈良交通 安堵町役場から15分ほど、平端駅から通しで行きますと、30分ほどをみていただければ。役場でちょうど私どもの路線バスが連絡運行をきっちりしておりますので、そのあたりは住民の方にご不便のない形での最低限の対応はさせていただいております。

事務局 安堵町とまだ正式な協議はしておりませんが、安堵町の担当課が総務課でして、そちらに打診はしており、前向きな感触を得ております。ただ安堵町では、町内の路線変更を現在検討されておられるようで、その変更時に合わせて考えていければということですので。いつからかというのは平成26年度からか、27年度からなのか、安堵町に合わせるという形で考えております。

奈良運輸支局 もう少し時間がかかり、先の話ということですか。

事務局 安堵町も町内路線の見直しと一緒にしたいと、これだけ単独でというのは少し難しいとおっしゃっていますので。

上田会長 休日も運行しているというのは、かなり経費はかかっているんじゃないかね。

奈良運輸支局 住民の方からなんですけど、昭和工業団地から何かご要望があるというように話してもらったんですけど、その話で何か情報があれば。

事務局 昭和工業団地の工場へ働きに行っておられる方が、平端駅で降りて工場へ行くまで、場所にもよりますが、けっこう歩かないといけないということです。各々の会社のバスが送り迎えで来ておりますが、共通のバスのようなものがあればというお話は、工業団地の労働組合の方からお聞きしたことはあります。昭和工業団地の平端駅に来ている送迎バスを、上手に活用できればという意見はあります。しかし、昼間例えばコミュニティバスとして運行するのであれば、その運行について誰が責任を持つのかなど、結局そのあたりの話でなかなか進まないというところでもあります。

上田会長 数年前にそれを工業団地に投げかけたことがあるんです。例えば、昼間の空き時間を活用できないかという話でした。青ナンバーのケースもありますし、それ以外のケースもありますが、もったいないですよ、朝晩だけ走っていて。あとは運転手さんの待遇の問題とか、保険をどうするのか、料金を取っていいのかなど色々な課題はありますが、かなりの台数が工業団地の中を走っていると思うんです。

事務局 そうですね、朝、平端駅でもおそらく4、5台ぐらいは来ているかもしれないですね。

上田会長 そういう活用もできればいいと思います。また運輸局さんも何かそういう情報が、もしあればお願いします。

それでは、これを受けて安堵町とも協議をしていきたいし、また新たな発想で工業団地でも何か展開できないかということも、これから考えていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

その他、何かございませんか。事務局はよろしいですか。

それでは、以上で協議会を終了させていただきたいと思います。また、今後とも何かあれば、ご指摘をいただきながら進めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

本日はありがとうございました。

以下余白